

至誠館大学

科目名	児童福祉論			コード	1263		
英語表記	Child welfare and family services						
担当教員名	梅木 幹司			年度	平成28年度		
基準年次	1年次	開講期	前期	単位数	2		
授業形態		授業形式	講義	履修形態	選択		
授業概要							
現代社会における児童や家庭の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢について紹介する。また児童や家庭に対する支援に関わる政策や制度、社会資源の活用について専門職として必要な知識が身につくような講義とすることを目的としたい。							
到達目標							
・児童の定義や児童の権利について理解する。							
・児童や家庭を支援する法律や制度、政策について理解する。							
・児童や家庭の生活実態とそれらを取り巻く社会情勢について理解する。							
授業計画							
第1回	オリエンテーション ～児童・家庭福祉とは 児童の定義～						
第2回	児童の権利について						
第3回	児童・家庭福祉制度の発展過程						
第4回	児童・家庭の生活実態Ⅰ ～少子化の進行とそれに関連する社会問題～						
第5回	児童・家庭の生活実態Ⅱ ～児童・家庭の福祉需要について～						
第6回	児童福祉六法Ⅰ ～児童福祉法の理念と概要について～						
第7回	児童福祉六法Ⅱ ～児童手当法、児童扶養手当法、特別児童手当等の支給に関する法律、子ども手当～						
第8回	児童福祉六法Ⅲ ～母子及び寡婦福祉法、母子保健法～						
第9回	児童福祉関係法Ⅰ ～次世代育成支援対策推進法、少子化社会対策基本法～						
第10回	児童福祉関係法Ⅱ ～児童虐待防止法、DV防止法、売春防止法～						
第11回	組織・団体の役割と実際 ～児童・家庭福祉制度における組織・団体の役割と実際について～						
第12回	専門職の役割と実際 ～児童・家庭福祉制度における専門職の役割と実際について～						
第13回	多職種連携とネットワーキング ～児童・家庭福祉制度における多職種連携とネットワーキングと実際につ						
第14回	児童虐待の実際 ～児童虐待の実際と児童相談所の役割と実際について～						
第15回	社会的養護について ～児童福祉施設と里親制度～						
評価方法と基準			評価項目と割合(%)				
毎回、小テストを行う。出席回数が3分の2に満たない者については、期末試験の受験を認めない。評価項目に授業態度を除外しており、積極的な質問は受け付けるが、注意すべき態度は受け付けない。大学生として相応しい態度で受講することを前提とする。			出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
			0	0	10	60	30
授業外学習			テキスト、教材				
数回レポート課題を出し、提出を求める。			新・社会福祉士養成講座第15巻「児童や家庭に対する支援と児童・家庭福祉制度」中央法規出版				
参考書			受講生へのメッセージ				
授業中で紹介する。			社会福祉士指定科目であるため社会福祉士受験資格を必要とする人は、必ず履修してください。				
キーワード							
少子化対策、児童の権利、児童虐待、児童福祉六法、ネットワーキング							